

計画の名称	密集市街地防災まちづくり (防災・安全)												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成33年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	浦安市												
計画の目標	地震時等に著しく危険な密集市街地が含まれる堀江猫実元町中央地区において、災害時にも命を守るために地区の防災性の向上と密集市街地の解消を実現及び通常時の安全性・防犯性を向上させるため、つぎの5つの目標を掲げる。 ①防災活動を円滑化するため、境川沿川東西の幹線道路との交差点に防災活動拠点を整備し、境川沿川に防災活動道路を新設してそれらを結ぶことにより、地区内への進入と河川水利を活かした防災活動と住民の避難を行いやすくする。 ②避難路ネットワークを形成するため、住民協議による「街区プラン」に基づいて、区画道路や街区内の道路整備により防災骨格道路に接続するとともに接道不良宅地などの建て替え困難な建築物も併せて解消する。 ③老朽建築物の建替を促進するため、住民協議による「街区プラン」に基づいて、敷地整序型土地区画整理事業や協調的建替特例手法の活用などにより、無接道宅地等での建替を促進する。 ④市街地の防火区画をするため、最小限の道路整備（新中通りA地区、境川沿川道路）と既存道路（幅員6m以上）の活用により地区内の防災骨格を形成し、その沿道建築物を不燃化して市街地を防火区画化する。 ⑤子ども等の安全性を向上させるため、整備を予定している道路や防災活動拠点には、子ども等の安全や防犯に配慮した整備を行うとともに、街区プランの検討を通して防災コミュニティを育み、地域ぐるみで子どもを守る意識を向上させる。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	661	A	661	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)	(H31末)	(H33末)
1	住民協議により作成する街区プランに基づいて、道路新設や既存狭隘道路を拡幅して避難路ネットワークを構築し、これらを整備することで接道不良宅地や無接道建築物などの建て替えが困難な建築物を解消する。 無接道建築物の棟数を平成29年度の196棟から平成33年度には98棟まで減少させる	196棟	138棟	98棟
2	重点密集市街地の解消に向けて住民協議で作成する街区プランに基づいて防災まちづくりを進めていくが、先行して地区内の防災性を向上させるため、新橋周辺に防災活動拠点及び防災活動や避難に役立つ避難道路を整備する。 地区内の避難活動、防災活動、消防活動を向上させる道路の整備率 整備済延長/整備計画延長（L=895m）	0%	13%	23%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中核都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	浦安市	直接	浦安市	-	-	住民等まちづくり活動支援（堀江猫実元町中央地区）	街区プラン作成等	浦安市	■	■	■	■	■	29	-	
	A13-002	都市防災	一般	浦安市	直接	浦安市	-	-	地区公共施設等整備（堀江猫実元町中央地区）	防災広場（1,203㎡）、避難路整備（895m）	浦安市	■	■	■	■	■	625	-	
	A13-003	都市防災	一般	浦安市	直接	浦安市	-	-	都市防災不燃化促進（堀江猫実元町中央地区）	不燃化調査	浦安市			■			7	-	
											小計							661	
											合計							661	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
庁内の担当部署		令和4年3月	
		公表の方法	
		市のホームページに掲載	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	整備計画に基づき、用地取得交渉を行った結果、1,133.95㎡の用地を取得し、1件の無接道建築物を除却した。また、地区住民を対象とした「防災まちづくり勉強会」などを実施し、防災まちづくり意識の向上、気運の醸成を図った結果、無接道建築物が50件減少した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	防災まちづくり勉強会などを通じて、地区住民と協力し、「密集市街地防災まちづくり方針【堀江・猫実元町中央地区編】」を策定した。また、この方針の中で取組として示した「防災街区整備地区計画の決定」について、令和4年3月25日に都市計画決定をした。

○特記事項（今後の方針等）

引き続き、防災広場及び防災避難路の整備に向け、用地取得交渉に取り組むとともに、避難路ネットワークの形成や無接道建築物の建て替え支援について、地区住民等と協議・検討しながら取り組んでいく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	無接道建築物の棟数		
	最終目標値	98棟	地区住民等と勉強会などを通じて、本地区の防災まちづくりについて検討した結果、まずは防災街区整備地区計画で最低限の建築制限を定めることとし、地区内の避難路ネットワークの形成や無接道建築物の建て替え手法の検討については、防災街区整備地区計画の決定後に着手していくこととしたため
	最終実績値	145棟	
2	防災避難路等の整備率		
	最終目標値	23%	地権者との用地取得交渉が難航しており、事業に必要な用地取得が完了できていないことから、整備工事に着手できていないため
	最終実績値	0%	